

渡島農業改良普及センター外部評価報告書

渡島総合振興局産業振興部農務課
渡島農業改良普及センター

渡島農業改良普及センターの普及指導活動を効率的・効果的に展開し、今後の普及活動に活かすことを目的に、外部の有識者や専門家による評価を実施しましたので、概要を報告します。

記

1 日時及び場所

- (1) 日時：令和5年（2023年）11月9日（木）13時30分～15時30分
- (2) 場所：知内町中央公民館2階大研修室（知内町字重内21番地1）

2 出席評価員

区 分	役 職
先進的農業者	北海道指導農業士
学識経験者	知内町議会議員
女性・若手農業者	南渡島4Hクラブ会長
民間企業	社会福祉法人あすなろ福祉会中ノ川センター施設長
マスコミ	北海道新聞社木古内支局長（※）
農業関係団体 （オブザーバー）	知内町役場産業振興課長（代理：農業振興係長）
農業関係団体 （オブザーバー）	木古内町産業経済課長（代理：主査）
農業関係団体 （オブザーバー）	松前町農林畜産課長
農業関係団体 （オブザーバー）	福島町産業課長（※）
農業関係団体 （オブザーバー）	新函館農業協同組合知内営農センター長

※業務の都合により欠席

3 評価対象課題

渡島農業改良普及センターで実施している全普及課題の12課題のうち2課題を詳細評価するとともに、意見交換を実施しました。

- (1) 普及指導活動の体制について【説明者：山口所長】
- (2) 詳細評価
 - ①担い手の育成支援～基本技術の習得～（広域）【説明者：田澤広域主査】
 - ②持続可能な地域農業の構築～農業を次の世代にバトンタッチ～（知内町・重点課題）
【説明者：橋本地域第3係長】

4 評価方法

(1) 普及指導活動の体制について

パワーポイントを使用して説明を行い、意見交換を行いました。

(2) 詳細評価

パワーポイントを使用し、各担当より具体的に説明を行い、評価表により評価を受けました。評価については5段階【5点（非常に優れている）、4点（優れている）、3点（妥当である）、2点（改善が必要）、1点（特に改善が必要）】で行いました。

5 評価結果

(1) 評価の概要

詳細評価では、①及び②課題については、各項目とも3点（妥当である）～5点（非常に優れている）の評価を得ており、高い評価を得ることができた。

普及指導活動の体制については特に意見等はなかった。

(2) 詳細評価

①担い手の育成支援～基本技術の習得～（広域）

普及指導活動 の課題化	ビジョン・活 動目標の明確 化	対象地域との 合意形成	農業者・地域 ニーズと波及 効果	活動方法	総合評価
4. 1点	4. 3点	4. 1点	4. 1点	4. 3点	4. 3点

※評価員等8名の平均点（総合評価のみ7名の平均点）

○出された意見・感想

- ・今後、肥育までの一貫経営を考えているということなので支援を頑張ってほしい。

○主な質疑

(質問)

- ・黒毛繁殖の素牛の価格は下がってきているという状況で、最初に就農した人が今年の末から出荷予定だということなんですけども、最初の計画の所得が得られないと思いますが、どう考えているのか。

(回答)

- ・令和4年に就農された方は就農計画よりも導入段階で牛の価格が大分下がっていました。導入いう部分ではよかったと思いますが、出荷に関しては値段が安いというのは心配しています。ただ、町の支援、牧草代を免除されてたりとか、あと素牛の導入に関して仔牛を買うにしても値段が安くされていることや、牛舎の賃貸料も安く設定されているので、他の一般の農家さんに比べたら非常に低コストで出来ているので見込みはあるのかなと考えています。

【評価表へのコメント】

- ・飼料作物の有効利用を西部4町で検討してほしい。（子実用コーン、ホールクロップ等）
- ・松前町としての肉牛支援対応は素晴らしい取り組み。

②持続可能な地域農業の構築～農業を次の世代にバトンタッチ～（知内町・重点課題）

普及指導活動 の課題化	ビジョン・活 動目標の明確 化	対象地域との 合意形成	農業者・地域 ニーズと波及 効果	活動方法	総合評価
4. 4点	4. 5点	4. 5点	4. 5点	4. 8点	4. 7点

※評価員等8名の平均点（総合評価のみ7名の平均点）

○出された意見・感想

・なぜ失敗したのか、どうして成功したのか課題の対象の人たちやそれ以外の人にも波及できるようにやっていただきたい。

○【主な質疑】

（質問）

・水稻の省力化について育苗作業が負担となっていると思うが改善の状況はどうなっているのか。以前、湛水直播とか試験的に行っていたが様々な課題があったので当時は出来なかった。

そのため、肝心の水稻の省力化が進まずに一番労働力がほしい時期にとられているのではないか。

（回答）

・水稻の省力化については直播が考えられますが中ノ川の土地条件やほ場条件が厳しく実施に至っていません。

これまでは湛水直播が行われていましたが、現在は乾田直播が少しずつ増えてきている状況で省力化のトレンドとしては乾田直播が増えていくのかなと考えてます。

（質問）

・ハウスの排水対策ハウス間が狭いため機械が入ることが水切りが出来ないということが以前からありますが何か検討されているのか。

（回答）

・狭い場所に入ることの出来る機械を所有して少しでも溝を掘って水を抜けるようにすることや、土をかさ上げして段差をつけて直接水に接しないようにするなど各地域で取り組んでいる。

【評価表へのコメント】

・農業経営の最終目標は「経済」であるので次世代へ引き継いでいくためにもしっかりとした「経営マニュアル」を示し何故だめなのか、出来なかったかの検証をして次のステップに進んでほしい。

・知内町の取り組みは問題と課題の整理が出来ている。

③普及指導活動の体制・普及職員の資質向上の取組み

○出された意見、感想

特になし

(3)その他

○木古内町及び福島町での取り組みについて紹介

(4)意見交換

○地域としてもう一步踏み込んだ考えはないのか。例えば水稲の共同育苗やにらの共同播種も1つの考えだと思うがそうすると適期に作業が進めることが出来るのでは。

→水稲に関しては生産組合で田植え及び収穫については共同で取り組んでいる。

生産組合では、現在、共同の部分の項目を増やすか受託している面積を他地域に広げていくかなど模索しながら考えている状況です。

普及センターとしてはあるべき姿と一緒に目指しつつ無理のかからないようにステップを着実に踏んでいけるよう対応していきたいと考えているところです。

○黒毛の価格が高いときに90万をしていたものが50万弱になって40万も違う状況。

良質な牧草や品種を選定しながら収量をあげえさを給与したり、受胎率を上げるといった方法もあるが黒毛に向かっていいのか疑問がある。

→肉牛改良センターを作った当時に草地更新を進め通常の畑よりは収量が高い状況となっている。

牛の価格は大分下がっているが、高かった時は異常だったと考えている。

現状、生産費自体は4、50万近くかかっていると思われるが、そういった中で松前町では粗飼料購入を支援したり年間で1軒当たり240個程度のロールを提供している。

また、仔牛の価格も下がったが、能力的に高いもの選抜して血統についても本州から導入したり、高い値段を狙えるようなものを使用しているので今後期待できると考えており、すべては今後の市場の値段次第というものもあるが少し期待をして見ている状況となっている。

(4)その他

今回の懇談会でいただいたご意見及びご助言については、所内で重く受け止め十分に協議を行い次年度以降の普及活動に生かしたいと考えている。

【懇談会の様子】



